



**コレステロールを下げると
よくないって聞いたけど？**

Q&A3

コレステロール値の低い人にがんの発症が多く、死亡率も高いといわれています。しかしこれは、がんになり衰弱するとコレステロール値が下がるためと考えられています。薬によりコレステロールを下げたことが原因ではありません。

二重盲検大規模試験の結果でも薬物療法でコレステロールを下げたことにより、がんの発症、死亡率が増えたという事実は認められていません。

**薬でコレステロールを下げた
結果、がんになるということ
はありません。**



**コレステロールを下げると
脳卒中を起こしやすくなるの？**

Q&A4

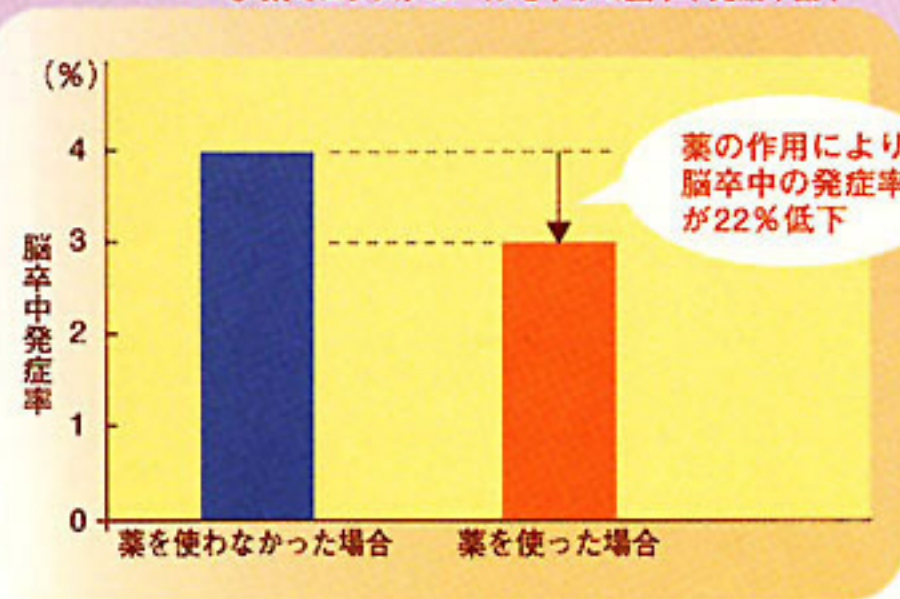
**薬でコレステロールを下げる
ことで、脳卒中を起こしやす
くなることはありません。
むしろ減らします。**



栄養状態が悪くてコレステロールが低い人は血管がもろく、そこに高血圧が加わると脳血管が破れ、脳卒中を起こしやすいといわれています。薬物療法によりコレステロールを下げた場合にはこれらのことはあてはまりません。

むしろ、高脂血症による動脈硬化は心臓の血管だけでなく、全身の血管で進むものと考えられていますので、薬でコレステロールを下げることにより脳を含む全身の血管の動脈硬化のリスクが低下し、ひいては脳卒中のリスクの低下にもつながると期待されています。

● 薬でコレステロールを下げて脳卒中発症率低下



(Circulation 103 : 387- 392, 2001より)